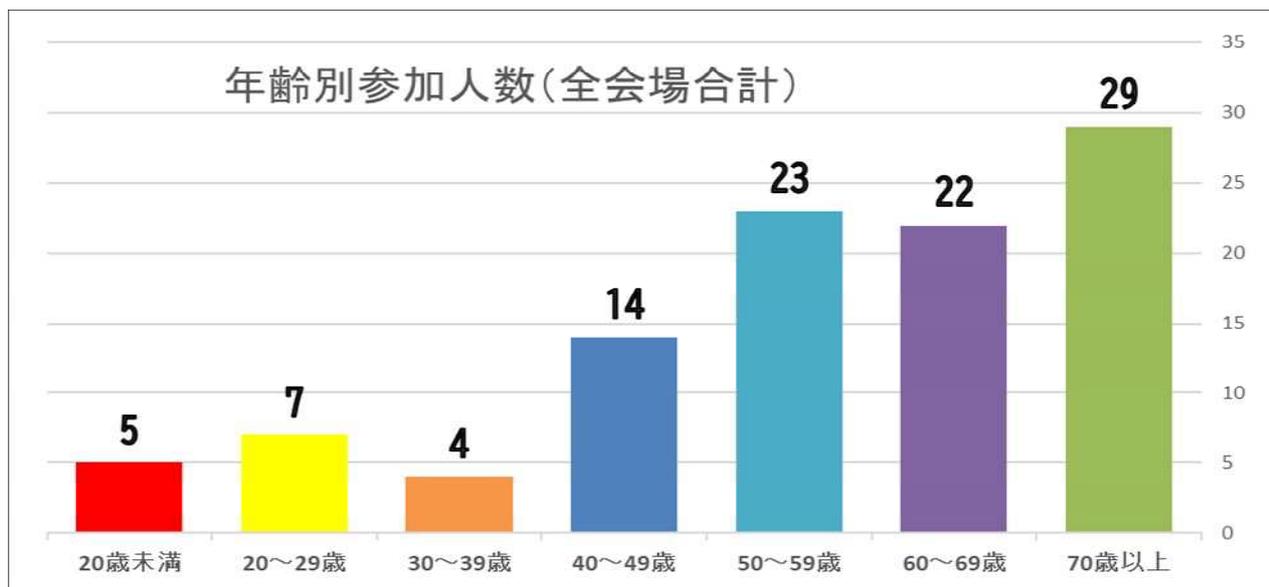


「令和7年度これからの公共施設と教育施設の意見交換会」 当日意見及び参加者アンケート 結果報告

開催日時	令和7年10月9日、10月31日、11月18日、11月26日、12月10日
参加者数実績	豊田地区20人、竜洋地区20人、福田地区14人、豊岡地区26人、磐田地区24人



1. 意見交換会の様子



2. 意見交換会(要旨)

・豊田地区① 令和7年10月9日(木) 市民文化会館かたりあ

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>特定環境保全公共下水道について、合併浄化槽の地域普及率に鑑みると、市債を発行して、建設工事をするには合理性に欠けている。</p> <p>令和8年度から、当該工事に掛けていた市債分を教育関係の費用に充てる等、大胆な施策の変更をして頂きたい。</p>	<p>ご意見に関しては、承る。</p> <p>なお、現状の下水道工事計画については、住民合意形成がなされていると認識している。然しながら、合意済の計画であっても、地域から中止の要望が挙がった場合は、しっかり住民と協議の上、取り進めていきたい。(市長)</p>
<p>小中一貫教育について、国の方針として行っているのか、それとも市独自の方針か。</p> <p>また、小中一貫教育を行うことで教育上における具体的な効果や影響を教えてください。</p>	<p>小中の9年間をひとつの枠組みとして捉え、子ども同士や地域、小中の教職員同士の繋がりを意識しながら、当市の教育をより充実、且つ、発展させるため平成24年度から推進している状況である。</p> <p>(教育長)</p>
<p>昨年と同テーマでの開催について、同じ質問や同じ回答があると、この意見交換会の時間が有意義にならないと感じる。</p>	<p>昨年参加していない市民が会に参加し辛くなってしまふこと、若しくは意見を言い辛くなってしまふことは避けたいため、今後も今回のような形式で開催する方針である。(市長)</p>
<p>公共施設や教育施設を複合化することにより生じるメリットデメリットを踏まえても、複合化する方針とした検討経緯を教えてください。</p>	<p>公共施設や教育施設を全て更新(建て替え)することは、現在の公共施設への平均年間投資額を踏まえると財源が不足する状況であるため、「財産管理」「質」「量」の見直しを図る方針に至った。</p> <p>また、施設の再編に伴う影響については、可能な限り最小限にできるよう、様々な政策や運用を検討していきたい。(市長)</p>
<p>小中一貫教育を行うことで、小学校と中学校で教え方の食い違うことが無くなるものと考えている。</p> <p>また、小学生の時点で中学生の生活面や部活動等を間近に感じられることで、スムーズに中学校へ移行できるものと考えている。</p>	<p>小中の教員同士がお互いの授業を見学する等、理解を深めながらより良い教育が行えるよう、日々検討している。</p> <p>また、小学生が中学校行事の見学や挨拶運動等を通じて、中学生の姿を見聞きできることは、小中一貫教育で目指すべき内容の一つでもある。</p> <p>今後もより良い教育に向けて、ご意見があれば教えてください。(教育長)</p>

・豊田地区② 令和7年10月9日(木) 市民文化会館かたりあ

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>教育長より「学校と地域の連携」に関する説明があったが、直近で地域の活動を行った中で、一部の学校の教員に非協力的な一面が見受けられたが、どのように考えているか。</p>	<p>個別な内容は把握できていないが、地域に対応してもらいたい内容が、非協力的に伝わった可能性もあるものと感じているが、地域と学校の繋がりをより大事にしたいと考えているので、またご意見がありましたら、お伝え下さい。（教育長）</p>
<p>学校体育館を指定避難所に行っているが、災害発生時に電源等が確保できない場合、空調設備を設置しても使用できない状態にならないか。</p>	<p>空調設備はガス式非常用発電機へ切替え可能な装置を設置する予定である。 また、指定避難所は家の倒壊で住めなくなる等、長期的に使用してもらうことを想定している。 (市長)</p>
<p>今後、施設を複合化した場合に発生する施設の跡地について、どのような利活用方針となるのか。</p>	<p>まずは現状の施設で利活用できる公共的サービスを検討し、該当がない場合は、民間活用の検討や更地化した上での検討を行うことになるが、地域ごとに様々な要素を踏まえながら、方針を整理して参りたい。（市長）</p>

・竜洋地区① 令和7年10月31日(金) 竜洋交流センター

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>公園遊具を更新する際に安全面の配慮も重要ではあるが、少々面白みに欠ける印象を受けている。遊具の内容や更新対象になる公園の選定における方針があれば教えて頂きたい。</p>	<p>市長就任以来、毎年1基ずつ大規模な遊具改修を実施する方針としているが、安全面も考慮した上で最大限に設置できる遊具として、豊田ラブリバー公園の改修を行った。</p> <p>なお、改修場所の選定においては、電車等からの視認性や広い駐車場の確保など、近隣市からも人を呼び込める要素を重視している。(市長)</p>
<p>小中一体校のみならず、コンパクトシティを含んだ構想もあると思うが、全国を見て回った中で、参考にされたい自治体があるか教えて頂きたい。</p>	<p>現状の都市計画を遵守しながら開発需要と機運を見定め、人に来てもらえる街づくりのための様々な施策を検討していく方針である。(市長)</p>
<p>小中一体校について参考にした事例があれば教えて頂きたい。</p>	<p>小中一体校の先行事例を視察したが、様々な形式があるため、具体的な参考事例を明言することは難しい。今後は各地区が形式を選定する際に、一体校の形式ごとのメリット・デメリットを十分理解してもらった上で決定していくプロセスを重視したいと考えている。(教育長)</p>
<p>ながふじ学府におけるスクールバス運用について教えて頂きたい。</p>	<p>ながふじ学府では、豊田北部小が豊田中と一体校となり所在地が南に移動したため通学距離が長くなった児童もいるが、徒歩通学圏内として位置づけスクールバスは運行していない。</p> <p>一方、向陽学府ではスクールバス8台を運行する方針で、時間や路線等を検討中であり、子どもたちの安心安全を最優先事項として慎重に検討を進めている状況である。(教育長)</p>
<p>将来的な建替え費用の財源について、企業誘致等が挙げられるが、その手立てはどのように考えているのか、教えて頂きたい。</p>	<p>公共施設建替え費用は国や県の補助金や有利な市債発行等で財政を工面して対応する。</p> <p>また、企業誘致は突発的な税収増は容易ではないが、雇用創出等に繋がるため今後も継続して取り組む方針である。(市長)</p>

・竜洋地区② 令和7年10月31日(金) 竜洋交流センター

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>ながふじ学府等における地域と学校（人與人）との関わりにおいて、どのような施策が行われているのか、教えて頂きたい。</p>	<p>市全体でコミュニティースクールを推進し、地域住民が学校支援に参加してやりがいを感じる一方、特に中学3年生がグループで地域貢献活動に取り組み、相互に充実感や達成感を得られるカリキュラムを進めている。（教育長）</p> <p>地域によっては、PTAや保護者の有志が集まり、学校の体育館を借りた上で、子ども達の居場所となるような機会を創出することを実施している事例もあるので、地域が主導する場合の居場所づくりにおいて子どものニーズを掴むきっかけにも繋がるものと考えている。一つの参考としてご認識頂きたい。（市長）</p>

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>市の教育の充実及び発展を目的としたコミュニティ・スクールについて、今後の展望を教えてください。</p>	<p>これまでも地域市民へ学校運営の方向性を共有すること等を実施していたが、今後は地域の市民にも、中学生へのキャリア教育等も含め子ども達との関わりを増やすことで学校と地域の双方がWin-Winの関係性が取れていくことが望ましいと考えている。 (教育長)</p>
<p>これまで学校を核とした地域コミュニティが形成されてきたが、小中一体校に伴う集約化等により地域コミュニティの希薄化に拍車が掛かることを危惧している。 また、近隣に地域コミュニティ施設が少ない地域においても、全体のバランスを考慮しながら、地域コミュニティを支える施設や職員の配置を検討してもらいたい。</p>	<p>公共施設を増設することについては、現実的ではないものの、公会堂や公園を含めた既存の施設を有効活用しながら、市民と共に他の好事例を基に、将来の在りたい姿を検討して参りたい。(市長)</p>
<p>ながふじ学府について、開かれた学校を標榜しながらも、地域への学校だよりに関する回覧が廃止されていること等もあり、開校後の検証も含め、学校からの情報が不足している印象を受けている。</p>	<p>回覧廃止は自治会の負担軽減の観点からという認識であるが、中学生が小学生に教える姿が見られる等、小中一体校ならではの繋がりが生まれていることは事実である。一方で学校からの情報発信については、課題であることは認識しているため、その方法に関しては継続検討して参りたい。(教育長)</p>
<p>旧磐田市と旧町村間の公共施設(特に体育館・グラウンド)の整備格差があると感じているが、市として対応策・解決策の検討をしているか伺いたい。</p>	<p>旧市町村で設置された施設はその当時の市町のまちづくりの方針に基づいて設置したものであるが、既存の施設を有効活用しながら、次世代への負担軽減を図るためにも、公共施設の再編検討を行う中で、可能な限り、量の削減を行いたい。(市長)</p>
<p>コミュニティ・スクールとしての学校の在り方として、学校と交流センターを一体化し、体育館や調理室等の各諸室を子ども達の授業優先としつつも、空き時間や土日、長期休暇等の期間を地域市民にも開放すれば、地域と学校との関わりが増え、市民の居場所づくりにすることも一案かと考える。</p>	<p>貴重な意見をありがとうございます。 地域市民と子ども達の交流を促進する場づくりと、地域コミュニティの活性化を目指して、可能な限り地域としっかりと話し合いを重ねながら構想を練り上げたい。(教育長)</p>

・豊岡地区① 令和7年11月26日(火) 豊岡中央交流センター

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>豊岡地区の小中一体校の形態について、今後の構想を知りたい。</p>	<p>一体校の各形態については、メリット・デメリットがあり、その両面を踏まえて、地域の市民と対話を重ね、且つ、人との繋がりを深めるための公共施設の複合化の要否も含めた対話を経て、とよおか学府としての方針を決めていきたい。（教育長）</p>
<p>部活動の地域移行に関して、豊岡地区は移動手段が課題と考えているが、市としての対策を知りたい。</p>	<p>移動距離は市としても課題と捉えており、登録指導者とも意見交換をしながら、可能な限り移動距離が抑えられるような活動場所や体制等の方策を検討して参りたい。（教育長）</p>
<p>今後、小中一体校として学校施設を集約化した場合に発生する施設の跡地について、どのような活用方針となるのか。</p>	<p>まずは現状の施設で利活用できる公共的サービスを検討し、該当がない場合は、民間活用等の検討を行うことになるが、地域ごとに様々な要素を踏まえながら、方針を整理して参りたい。（市長）</p>
<p>豊岡総合センターに人工芝のグラウンドを敷設すれば、利用者の集客力向上に繋がるものと思料する。また、周囲の街路樹にイルミネーションを設置することも集客力向上と夜間の安全を確保することにも繋がるものと思料する。</p>	<p>人工芝については、環境問題への配慮や芝の張り替えに係る膨大なコスト等を踏まえて検討するべきと思料する。また、イルミネーションについては、先ずは有志の地域市民が設置に向けた活動を行い、市はその活動に補助金を交付する形で支援体制を構築している事例が多いものと思料する。（市長）</p>
<p>子ども達に新たなきっかけを作る部活動は重要と考えており、部活動が無くなってしまうと、保護者が意図した部活動や経験のある部活動以外の選択肢が減ることで、活動の幅が狭まってしまうことを危惧しているため、行政側で地域部活動の指導者を発掘する等良い方策を検討してもらいたい。</p>	<p>現状、地域クラブ活動（SPO☆CUL IWATA）では、スポーツとカルチャー両面で17部活が稼働し、今後も子ども達のニーズに合った場づくりを進め、地域市民の協力や理解を得ながら、子ども達の居場所兼活動、成長の機会を創って参りたい。（教育長）</p> <p>現状、部活動の選択肢が限られている学校もあり、同じ市内でも通学する学校によって格差が生じていると感じる。それを是正するためにも、土日は自分が本当にやりたい活動を当たり前に行える環境を作り、子ども達に多様な自由を楽しんでもらいたい、との思いを持って、教育長と共に部活動の土日の地域移行を進めている。（市長）</p>

・豊岡地区② 令和7年11月26日(火) 豊岡中央交流センター

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>学級編制について、豊岡南小では児童 35 人が 1 学級で学校生活を送っている実情があるが、教室内の狭隘化解消、及び教員の負担軽減に鑑み、2 学級編制等、柔軟な方針とするべきではないか。</p>	<p>現状、児童 35 人の学級に 1 人の教員配置とする文部科学省の方針に基づいた運営をしているが、教員配置の関係上、市の判断で 2 学級にできない実情もある。その場合、可能な限り、教員支援員を配置する等のサポートはして参りたい。（教育長）</p>
<p>今後、SPO☆CUL IWATA で活動する文化系の異なるクラブ同士が交流する場や市民への発表の場を設けることは、SPO☆CUL IWATA の PR にも繋がるものと考えているため、是非、検討してもらいたい。</p>	<p>良いご提案と感じており、文化系だけでなく、スポーツに関しても市民への発表の場を設けられるよう、登録指導者の方々とも連携しながら、検討して参りたい。（教育長）</p>

・磐田地区① 令和7年12月10日(水) 市役所本庁舎

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>全国的なデータにおいて、学校の集約化に伴い、学校を廃校にすると街が衰退する事例が多いため、磐田においては、学校を残しながら交流施設や社会施設、体育施設を集約することが重要だと考えるが如何か。</p>	<p>学校施設は老朽化した今の状況のままで良いとは考えておらず、今後の人口動態にも備えて変化を自発的に生み出し、その変化に伴う多少の痛みも含めて、市民とも共有しながらより良い物を将来に残して参りたい。(市長)</p> <p>こども達の教育環境にとって一番良いものにすることを目標とする中で、学校と地域がより連携できるためにはどのような公共施設が必要になるのか、地域毎で対話を重ねながら方針を判断して参りたい。(教育長)</p>
<p>小中一体校にする上で、小学校は幼児教育の課題があり、中学校は思春期ならではの課題があると聞いたことがある。無理に一体校化した場合、様々な問題点が生じることが予想されるため、一体校化の課題については慎重に検討の上、対応してもらいたい。</p>	<p>一概には言えないものの、同じ建屋内にある豊田北部小と豊田中においては、小学生は中学生に憧れ、中学生は小学生や下の学年に対して優しさが深まるといった話や、小中学生が共同で委員会活動等を行うことで、こども同士の関わる力が自然に育まれている状況であるため、今後も小中学生の繋がりを重視する中でやり方を検討して参りたい。(教育長)</p>
<p>地域に開かれた学校を標榜しながらも、地域からの依頼を学校の教員が対応してくれない、といった事象があったため、地域と学校との連携がより図れるような体制を作ってもらいたい。</p>	<p>小中一貫教育、コミュニティスクールを更に推進する上では、地域と学校の連携や情報共有は必須と考えているため、連携不足な状況が生じた際には学校側にも申し入れて参りたい。(教育長)</p>
<p>将来的に人口減少が想定される中で、50年、100年先を見据えて公共施設を縮減していく方針は示されているか。</p>	<p>新しく公共施設を設置する際には、バリアフリーの観点等から、以前に比べ余裕を持たせた施設面積を確保する必要があるため、正直に申し上げると容易な取り組みではないが、公共施設の床面積を約10%縮減する目標を定めている。(市長)</p>
<p>県立や私立の高校等、市以外が所有する施設と複合化する等の選択肢を持っても良いと思うが、その考えはあるか。</p>	<p>まさに旧市民文化会館跡地は民間事業者との共創による利活用の検討を進めている状況であり、県や近隣市町とも連携を図りながら、施設複合化の検討も継続して行っている。(市長)</p>
<p>向陽学府小中一体校化に伴うバス通学について、開校から数年経過後に有償になる旨の情報を聞いたが、事実になるのか。</p>	<p>開校当初は学校周辺で継続して工事車両が入り出することもあり、こども達の安全面を最優先に考慮したバス運行を予定しているが、将来も持続可能なバス運行にするための方針案も継続検討中である。(教育長)</p>

・磐田地区② 令和7年12月10日(水) 市役所本庁舎

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
部活動の地域移行における最大の課題は協力者と活動場所の確保だと感じているが、公共施設を統合した後の跡地（グラウンドや体育館等）をどのように利活用するか、上述課題の観点を踏まえた検討を進めてもらいたい。	ご意見について、承知した。部活動の地域移行における場所の確保は、市としても同じく課題と認識しているため、可能な限り活動場所を確保できるよう検討して参りたい。（教育長）
昨年、交流センターの在り方についてのワークショップが開催されていたが、現在の進捗状況を伺いたい。	既存の交流センターを全て建替えることは不可能で、建替える場合でも他の施設と複合化していくべきと考えているが、どのように再編していくか検討しようとする議論はあるものの、具体的な検討には至っていない状況である。（市長）
教員の働き方改革も遂行すべき事項と考えているが、小中一体校化した後も含め、急に教員に欠員が生じた場合等、どのように対応するのか伺いたい。	過去に比べると欠員発生時に代替の教員を確保することに苦労している実情はあるが、学校によっては、フリーの教員に担任を依頼する等で対応している事例もある。また、小中一体校を推進する中でも、可能な限り教員を確保しながら学校運営することを検討している状況である。（教育長）
小中一体校化の形態を問わず、学校施設の建替えは生じるものと考えているが、現在の学校用地の抜本的な見直しに関する検討は行われているのか。	各学校の所在地や設備の状況にもよるが、学校用地の獲得も含め、小中一体校をどこに設置するべきか、総合的に検討を行う必要がある、と考えている。（教育長）
現在、東部小の一部の児童は、卒業後、神明中ではなく城山中に通学している事例もあるが、小中一体校化の観点で、将来的に学府の再編を検討しているのか伺いたい。	東部小にて、両中学校との連携が機能するよう、日々取り組んでいるが、仮に学区の再編となると、これまでの歴史的な積み重ねや学校を核とした地域との繋がりを考慮して、地域等と対話を重ねて理解を得る必要があるものと考えている。（教育長）

3. 参加者アンケート結果

目的	今後の意見交換会等の開催に向けて参考とする
対象	意見交換会参加者
調査方法	意見交換会にてWEBアンケート用紙を配布し後日実施
参加者数	104人／申込者数 109人
回収数	37人／回収率 35.6%

問1 意見交換会を何で知りましたか？

回答者数 37人

項目	回答数	構成比
チラシ	7 人	18.9%
自治会連合会などからの連絡	13 人	35.1%
広報	8 人	21.6%
ダイレクトメール(市や学校からのお知らせ)	1 人	2.7%
SNS(インスタグラムやフェイスブック)	1 人	2.7%
ホームページ	3 人	8.1%
その他	4 人	10.8%
合計	37 人	100.0%

問2 「公共施設と学校施設の現状と今後について」の内容に関する知識や理解が深まりましたか？

回答者数 37人

項目	回答数	構成比
十分深まった	10 人	27.0%
概ね深まった	24 人	64.9%
変わらない	2 人	5.4%
あまり深まらなかった	0 人	0.0%
まったく深まらなかった	1 人	2.7%
合計	37 人	100.0%

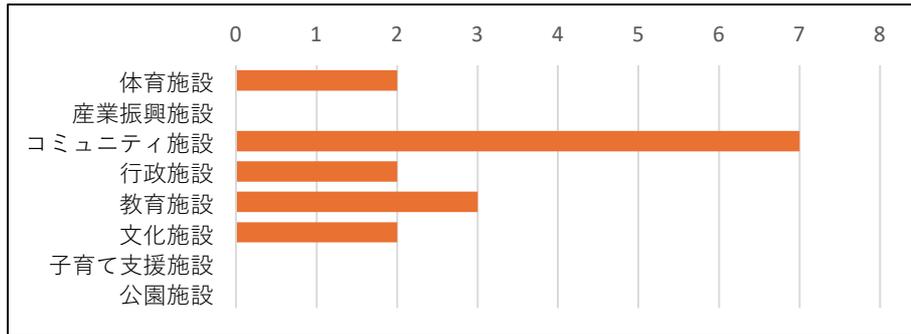
問3 説明から意見交換会までの受講時間(約1時間)はどうでしたか？

回答者数 37人

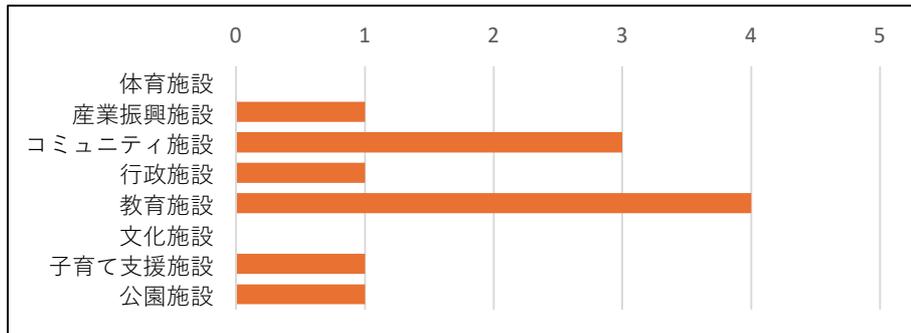
項目	回答数	構成比
短かった	7 人	18.9%
やや短かった	13 人	35.1%
ちょうど良い時間だった	16 人	43.2%
やや長かった	1 人	2.7%
長かった	0 人	0.0%
合計	37 人	100.0%

問4 20年後、この地域に「必要」だと思う施設を2つまでお選びください。

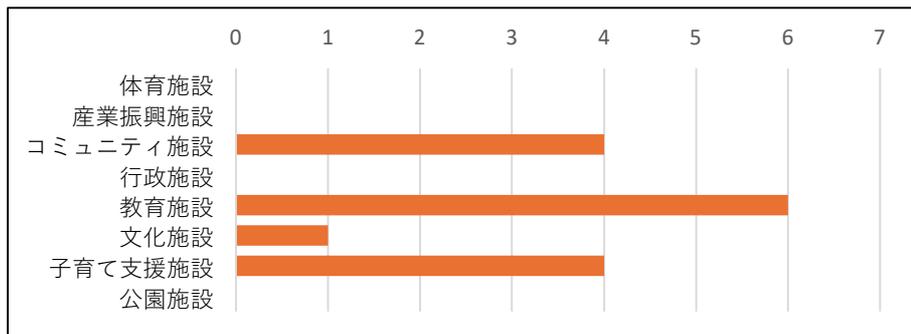
磐田地区



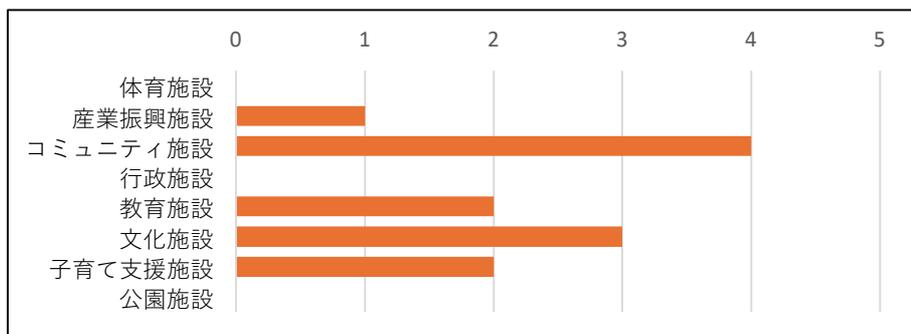
福田地区



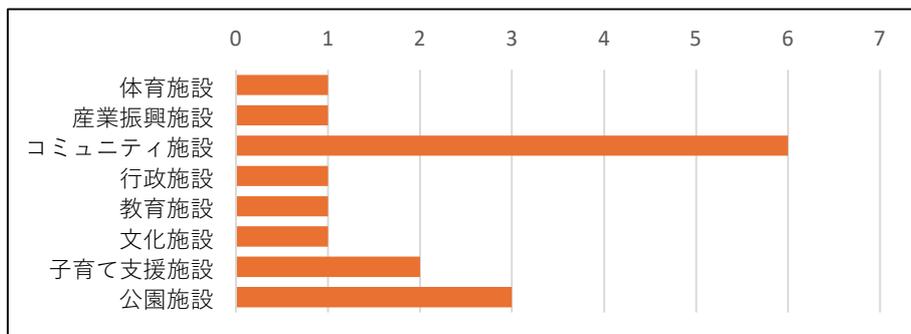
竜洋地区



豊田地区

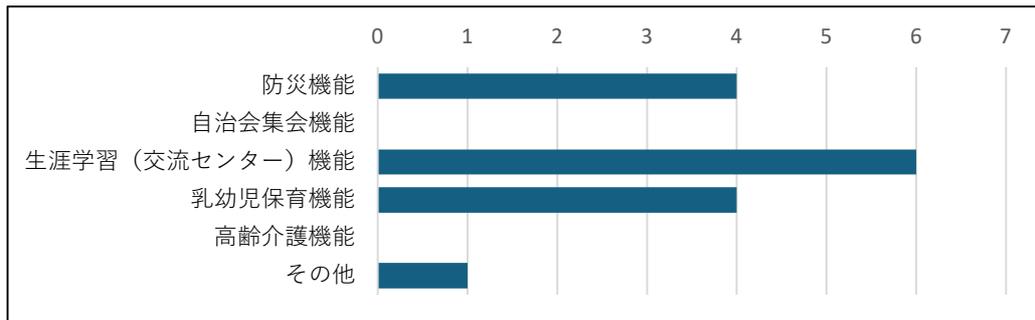


豊岡地区

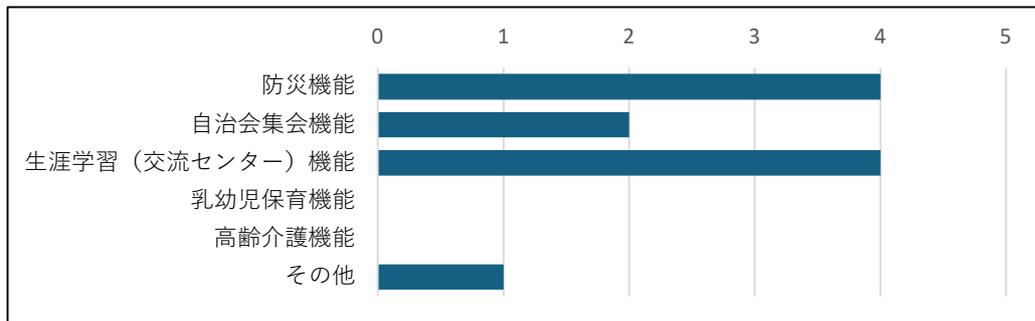


問5 地域として学校敷地にあると良い機能を2つまでお選びください。

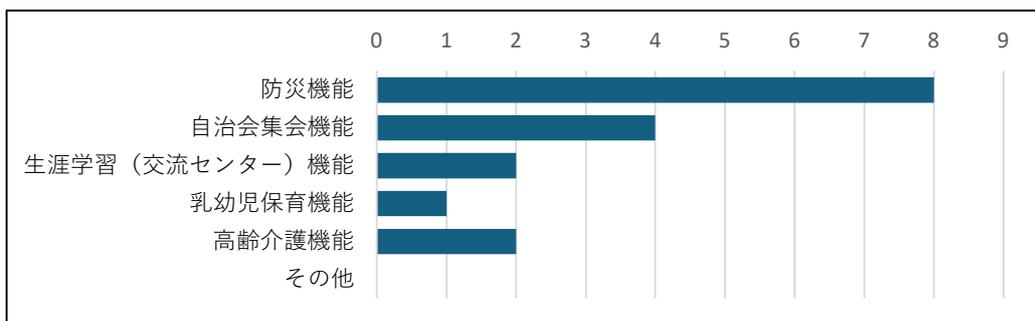
磐田地区



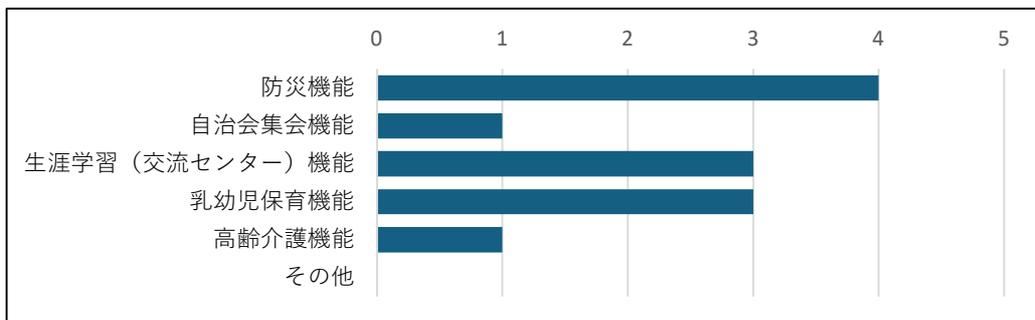
福田地区



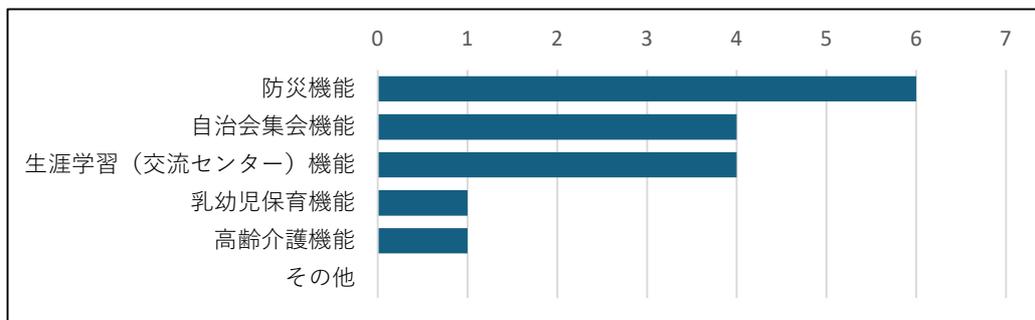
竜洋地区



豊田地区



豊岡地区



問6 人口減少や税収の減少が予想される中、今後の磐田市の公共施設は「複合化」や「集約化」を進める必要があります。このことについて皆様の意見を自由にお答えください。(自由記述)

意見一覧(要約)

- 今後の人口動態を踏まえてコンパクトな街づくりをするべき。
特に体育施設は集約と施設廃止の検討と共に、更新時期を迎えている施設も多数あることから、更新資金を捻出するためにも利用料金の値上げも同時に検討するべき。
- 少子高齢化や若い世代の車離れ等の影響があることから、文化、スポーツ、行政施設は車でしか行けない場所ではなく、駅付近に施設を集約するべき。これにより、公共交通機関維持にも繋がることになる。
- 部活動地域移行に伴い、使用頻度が低くなる学校施設の空き施設について利用促進するべき。
- 学校施設に交流センターや防災拠点等を設置し、複合化を図るべき。
- 乳幼児から高齢者まで多様な人たちが集い、関わり合えるような複合的、且つ、多機能な施設が設置されるべき。
造形や音楽、演劇、ダンスをはじめ多くの文化に、遊びながらも学べる施設は集客力も高く、今の磐田に必要。
- 複合化・集約化を実行する一方で、地域ニーズの適切な把握と施設利用者(特に移動が困難な方)の利便性を損なわないための代替策の検討は必要。
- 体育施設は各団体が希望する使用時間が重複するため、学校の施設開放や公共施設の予約はほぼ確保できない現状がある。
小中一体校化等により生じる廃校を活用して、お昼は高齢者、放課後は学童や地域クラブ活動「SP0☆CUL IWATA」に開放することで、市民が集い、新たなコミュニティ創出にも繋がるため、是非検討してほしい。
- 複合化・集約化は将来の為にも推進するべきだが、市内全ての地区に平等に施設を設置する必要はない。地域の特性に合わせて総合的に検討し、施設を配置するべき。
- こども達の思いや望みを知りたい。
- 福田中の移転、若しくは小中一体校化の検討を進めて欲しいが、学校の安全安心を確保することを優先して欲しい。
交流センターや図書館を学校に集約することは、コストや安全対策が嵩むことから、避けるべき。
また、福田は命山等避難施設が乏しい。集約化よりも既存施設を使用し、コストを抑えながら身近に避難できる施設を確保して欲しい。
- 複合化や集約化は仕方がないが、山間部や郊外に住む市民のための交通サービスの整備について、民間と連携しながら、平行して検討してほしい。
- 人口減少社会では、教育環境や施設管理においても学校施設の集約化は必要である。
- 人口減少社会に向けて、一人ひとりが孤独や孤立しないよう、乳児から高齢者までいつでも自由に集まれる憩いの場が欲しい。
- 少子化による児童の減少で、学校施設の空きスペースに乳幼児施設を設置する等、施設の有効利用策の検討が重要である。
- 複合化・集約化には地域格差が生じない策が必要。
- 地域の拠点となる防災とコミュニティ施設は集約化してでも残すべき。
計画を早期に策定し、残す施設は改修や修繕を実施してほしい。
- どんどん進めて良い。
公共施設の集約化と共にスリム化もできると良い。
- 旧市町村のエリアを超えた集約化や複合化の検討も必要。
- 地域によって、事情は異なると思う。地域性を持たせた検討が必要。
- 予算や通学、地域の事情を踏まえつつではあるが、少人数での教育には寂しさと人間関係の固定化の懸念を感じた。
財政面だけでなく、複合化・集約化を前向きに検討すべきだと改めて感じた。

問7 その他、ご意見やご要望がありましたら以下に御記入ください。(自由記述)

意見一覧(要約)

- 市長・教育長の説明から、磐田市が将来的に目指す市ならではの教育像の熱い思いが伝わらなかった。小中一貫教育を進めるにあたり、市ならではの先進的な教育ビジョンを市民に示し、共有していくことが必要である。
- スポカルと共創するクラブの設立を検討中だが、最大の課題は活動場所の確保である。放課後に活動するには、ナイター設備が必要だが、設備を有する施設は限定的なため、積極的に施設が開放されないと、クラブ活動は難しい状況になる。また、休日の活動場所も必要で、既存の学校施設を有効活用できるよう調整してもらいたい。
- 市長や教育長に意見を言いたい人が言う会になりがちな印象を受けた。グループワーク等で自分と違う意見を持つ市民がいることも知る機会にしても良いと感じた。
- 設備のトータルコスト削減には、既存施設や設備を古くなっても大事に使うことが必要。
- 様々な問題はどの分野でもあるが、立場の違う方に共有してもらおうこと、何より、互いに歩み寄ることの大切さを感じる。こどもをとり囲む周りの大人が、その姿勢で『事を成す姿』を見せていき、それを見たこどもがこの地域でよかったと感じて、将来、地域に返せる大人になってほしい。市長、教育長、地域の方が身近に意見交換できる場は最高だと思う。
- 小中一体校化により廃校となった学校施設の活用策も重要だと考える。豊岡東小には課題があるが、良い方向になると良い。
- 人と人とのつながりを大切にするためには、繋がる場所や手立てが必要になる。特に豊岡地区は公共交通機関が限定されるため、なおさら重要である。
- 学校整備に当たっては、小中一体校に加え、金融機関や医療機関、災害時の避難機能を備えた複合的な拠点づくりも検討の余地があると考え、一方で複合化・集約化には広い駐車場や敷地が必要で、土地の確保は困難ではないかという懸念もある。
- こども達にも分かりやすく伝えてもらいたい。共に考えていきたい。
- 今回、複数回参加した。地区によって参加者の意見や質問も異なることから様々な話を聞いて勉強になった。
- 学府一体校化により、これまで既存施設で担っていた避難所としての役割や投票所の扱いがどうなるのか心配になった。
- 小中一貫教育の推進にあたり、こどもの成長に関わるキーワードを具体化するため、市民との継続的な意見交換の場は必要。
- 個人的にはもっと中学生が小学生の面倒を見るべきだと感じる。小中一体校化により、中学生が小学生の模範になることや指導をする機会が増え、お互いに人間関係の学習にも繋がると考える。
- 年代別で参加する会があっても良かったと思う。市長の知識量には驚いた。努力されている印象を受けた。
- 学生等、若い世代のみが参加する会もあると良い。

問6の意見における質問に対する回答

質問内容	回答
<p>少子化が進行する中で、子育て支援センター等の見直しは行わないのか。</p> <p>一日に数組しか利用していない施設の実態や人的コストも考慮し、地域市民とも議論して見直しを図って欲しい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>少子化等に伴う利用ニーズの変化は、市としても認識しております。市内12か所のセンターは交流や身近な相談の場として大切な役割を担う一方、ご指摘のとおり、より効果的で充実した運営が今後の課題と考えております。今後も市民の皆様の声を丁寧に伺いながら、各施設の特色づくりや役割分担を含め、より良いセンターの在り方や運営について検討してまいります。</p>

問7の意見における質問に対する回答

質問内容	回答
<p>ながふじ学府は、一体校化前後の学校評価データを複数年で比較・分析し、成果と課題を整理して市民に公表すべきであり、その際は、大学教員など専門家の協力を得て、客観的な検証を行うことは如何か。</p>	<p>ながふじ学府では毎年学校評価を実施し、公表しています。専門家による検証は今後の検討課題とさせていただきます。今後も成果を公表し、信頼される運営に努めます。</p>
<p>下水道事業のウォーターPPPについて、2点教えてほしい。</p> <p>(1)ウォーターPPPとは、どんな事業なのか。</p> <p>(2)現在の進行状況を公表可能な範囲で教えてほしい。</p>	<p>(1)これまで市が行ってきた下水処理場や下水道管等の管理・修繕・更新を民間企業の知恵やノウハウを活用して、より効率的に運営するために一括して委託する仕組みです。</p> <p>(2)令和7年度に豊岡地区についてウォーターPPPの導入検討に関する可能性の調査を行いました。</p>
<p>地域で部活動を支えるためには、場所や費用面での支援も不可欠であり、一定条件を満たす団体への優先開放やスポカル同様の減免措置などの支援を検討してほしい。</p>	<p>地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」を実施していく中で、活動場所の確保及び施設利用については課題の一つであると認識しています。実際の活動を進めながら、検討していきます。</p>
<p>公共施設の問題は学校等の施設に限らず、橋りょう等も同様だと考えており、築60年を超えている東橋の安全性や検査結果の公表されないのか。</p>	<p>磐田市管理の橋梁は5年ごとに近接目視による点検を行っており、点検結果および修繕計画を磐田市HP「橋梁等の個別施設計画」にて公開しております。</p> <p>東橋については令和6年度に点検を行っており、令和9年度に修繕を計画しております。</p>

質問内容	回答
<p>ながふじ・向陽学府の公共施設へのアクセス方法や、避難所への避難ではなく、車内避難が増加している背景を踏まえて、運動場を使用する以外で車内避難への対応について知りたい。</p>	<p>避難所での避難生活が必要な方がやむを得ず車で避難生活を送る場合（車中泊避難）については、地震の発災時には、公共施設等を事前に「車中泊避難用」としての指定はしてありません。</p> <p>避難所のスペースも限られていることから、可能な範囲での「車中泊避難」になると考えます。</p> <p>また、車中泊避難をする場合でも、エコノミークラス症候群の予防や季節性を考慮した各自の対応をお願いします。</p> <p>一方、車による避難行動等（①避難のための車による移動、②移動した先での車中による安全確保、③災害からの車両を守るための行動、④その他一時避難）の場合は、災害種別や災害の程度によって変わってくるため、それぞれの場合における確認が必要です。</p> <p>例）大雨時の②③については、城山球場や見付駐車場を一時的な車中及び車両の避難場所として開放しています。</p>